(C)十勝毎日新聞社

十勝勢女子500表彰台独占

女子500㍍の表彰台に上がり、笑顔を見せる高木菜那、高木美帆、松田有幾（左から、大賀章好撮影）

全日本スケート開幕

高木美2年連続1位

高木菜2位 松田3位 今野が男子トップ

【長野】スピードスケートの第81回全日本選手権は15日、長野市のエムウエーブで開幕した。初日午前の女子500㍍は、高木美帆（帯南商高）が39秒35の好タイムをマークし、2年連続でこの種目を制した。2位には姉の高木菜那（日本電産サンキョー―帯南商高出）、3位には松田有幾（十六銀行―白樺学園高出）と十勝出身選手が表彰台を独占した。前回総合覇者の石澤志穂（トランシス―駒大苫小牧高、中札内中出）は11位。男子500㍍は今野陽太（開西病院）が36秒22で制し、三輪準也（法大―白樺学園高出）が36秒30で3位に食い込んだ。16日までの2日間、男女各4種目の総合得点で優勝を争う。（岡部彰広、折原徹也）

【女子500㍍】39秒35のタイムで優勝した高木美帆（大賀章好撮影）

【男子500㍍】優勝した今野陽太。総合優勝へ好発進となる滑りを見せた（折原徹也撮影）

好タイムマークガッツポーズも 高木美

○…会心の笑みを見せた。高木美帆（帯南商高3年）が国内自己ベスト記録に0・01秒差に迫る39秒35で女王を相手に、最初の100㍍で10秒98と0・02秒をマークし、ゴール後にはガッツポーズも。「ベストに近いじゃん、という感じで出てしまいました」と言葉も弾んだ。

同走は、今季、中距離が強く、ワールドカップ（W杯）前半戦代表にもなった押切美沙紀（富士急―駒大苫小牧高、中札内中出）。かつての短距離インターハイ女王を相手に、最初の100㍍で10秒98と0・02秒差をつけると、バックストレートでうまく追って加速した。終わってみれば、この大会では姉の菜那と一昨年以来の表彰台も獲得。2人で笑顔を振りまいた。

先週のワールドカップでは「うまくいかないことの方が多い」と嘆いていたが、史上2人目の高校生女王へ好発進。好タイムの要因について「氷が滑るからじゃないですかね」とはにかみながら、次の3000㍍に向けて意気込んだ。

【男子】▽500㍍ （7位以下関係分）

世界記録	ジェレミー・ウォザースプーン（カナダ）	34秒03
日本記録	及川佑（びっくりドンキー）	34秒27
大会記録	今井　裕介（群馬県連盟）	35秒72
リンク記録	加藤条治（日本電産サンキョー） ペッカ・コスケラ（フィンランド）	35秒64
①今野	陽太（開西病院）	36秒22
②山中	大地（Ｄｅｎｓａｎ）	36・28
③三輪	準也（法大―白樺学園高出）	36・30
④大和田	真（北翔大―本別高出）	36・63
⑤森永	一帆（早大）	36・65
⑥小田	卓朗（早大）	36・86

⑨阿部大輝（クレアシオン―日大、白樺学園高出）37・18⑩新田昌樹（とかちチームＡＡ）37・26⑪小林友剛（水戸開研―明大、白樺学園高出）37・30⑭渡部知也（日体大―池田高出）37・57⑮小坂龍（専大―白樺学園高出）37・61⑯磯賢汰（日大―帯農高出）37・64⑲森哲平（北斗病院）37・89㉒道下雅史（十六銀行―専大、白樺学園高出）38・05㉔高田衛（帯八中）38・07㉖齋藤紘彬（専大―帯南商高出）38・16㉙小川新太（明大―白樺学園高出）38・47㉝高浪健太（山梨学院大―白樺学園高出）38・72㊸小川拓朗（白樺学園高）39・52※歸山雄太（帯広連盟）＝失格

【女子】▽500㍍

世界記録	干　　静（中国）	36秒94
日本記録	小平奈緒（相澤病院）	37秒42
大会記録	三宮恵理子（富士急）	39秒01
リンク記録	イ・サンファ（韓国）	37秒60
①高木	美帆（帯南商高）	39秒35
②高木	菜那（日本電産サンキョー―帯南商高出）	39・45
③松田	有幾（十六銀行―白樺学園高出）	39・46
④黒岩	美生（日体大）	39・71
⑤押切美沙紀	（富士急―駒大苫小牧高、中札内中出）	39・90
⑥菊池	彩花（富士急）	40・30

⑨門奈津実（ダイチ―白樺学園高出）40・55⑪石澤志穂（トランシス―駒大苫小牧高、中札内中出）40・92⑫石野枝里子（日本電産サンキョー―白樺学園高出）41・20⑭藤村祥子（宝来中央歯科）41・24⑮藤村あゆみ（タカショー―日体大、白樺学園高出）41・27⑯高橋菜那（山梨学院大―白樺学園高出）41・30⑰阿部美沙希（山梨学院大―白樺学園高出）41・46⑳川口愛莉（日体大―帯南商高出）41・77㉒山田真以（日体大―帯三条高出）41・92㉕原田梨央（白樺学園高）42・30㉗蓑田智子（帯広連盟）42・44㉟福地加奈（大東大―釧路商高、駒場中出）43・72